

令和 6 年度

有害赤潮プランクトン対策事業報告書ー I

—— 長崎県内における赤潮の発生状況 ——

令和 7 年 5 月

長崎県総合水産試験場

目次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	通報体制・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	発生件数・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	発生水域・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	赤潮構成プランクトン・・・・・・・・	2
6	赤潮に伴う漁業被害・・・・・・・・	2
7	令和6年の赤潮速報・・・・・・・・	8
8	令和6年の赤潮発生時の状況・・・・	79
9	令和6年の赤潮による漁業被害の状況・・・・	87

赤潮速報ページ一覧

ページ	番号	発生日	発生海域	赤潮構成種	備考
8	NS-1	4/28	九州西部 有明海 諫早湾	<i>Heterosigma akashiwo</i>	
9	NS-2	5/24	離島 五島 玉之浦湾	<i>Noctiluca scintillans</i>	
10	NS-3	6/14	九州西部 大村湾 佐世保湾	<i>Karenia mikimotoi</i>	
16	NS-4	6/17	九州西部 有明海 口之津町地先	<i>Chattonella</i> spp.	
17	NS-5	6/17	九州西部 有明海 諫早湾	<i>Chattonella</i> spp.	
19	NS-6	6/20	九州西部 橘湾 網場(戸石)地先	<i>Chattonella</i> spp.	
27	NS-7	6/20	九州西部 橘湾 有喜~千々石~南串山地先	<i>Chattonella</i> spp.	
32	NS-8	6/24	九州西部 九十九島 北九十九島周辺	<i>Karenia mikimotoi</i> <i>Chattonella</i> spp.(7/2発生)	複合赤潮
42	NS-9	6/25	九州西部 九十九島 南九十九島周辺	<i>Karenia mikimotoi</i> <i>Chattonella</i> spp.(6/25発生)	複合赤潮
49	NS-10	6/27	九州西部 平戸周辺 木ヶ津地先	<i>Karenia mikimotoi</i> <i>Chattonella</i> spp.(7/1発生)	複合赤潮
52	NS-11	6/28	九州西部 西彼沿岸 多比良~面高地先	<i>Chattonella</i> spp.	
57	NS-12	7/3	九州西部 大村湾 西海市地先	<i>Karenia mikimotoi</i>	
58	NS-13	7/9	九州西部 大村湾 佐世保市、西海市、長与町、時津町地先	<i>Karenia mikimotoi</i>	
61	NS-14	7/11	離島 対馬 浅茅湾	<i>Ceratium furca</i>	
62	NS-15	7/12	九州北部 伊万里湾 星鹿地先	<i>Chattonella</i> spp.	
63	NS-16	7/31	九州西部 橘湾 有喜~千々石~南串山地先	<i>Karenia mikimotoi</i>	
68	NS-17	8/2	九州西部 西彼沿岸 多以良地先	<i>Karenia mikimotoi</i>	
70	NS-18	8/3	九州西部 橘湾 網場(戸石)地先	<i>Karenia mikimotoi</i>	
71	NS-19	8/5	離島 壱岐 芦辺町左京鼻地先	<i>Dictyocha fibula</i>	
72	NS-20	8/21	九州西部 有明海 諫早湾	<i>Heterosigma akashiwo</i>	
73	NS-21	8/22	九州西部 大村湾 佐世保湾	<i>Chattonella</i> spp.	
75	NS-22	9/10	離島 五島 玉之浦湾 布浦地先	<i>Cochlodinium</i> sp. type-Kasasa	
76	NS-23	10/23	九州西部 九十九島 南九十九島周辺(船越地先等)	<i>Cochlodinium</i> sp. type-Kasasa	

長崎県内における赤潮発生状況

1. はじめに

九州沿岸域の水産関係機関相互間において、赤潮による漁業被害を未然に防止するための一助として、昭和 53 年度から赤潮情報交換事業(水産庁補助事業)として開始され、令和元年度からは有害有毒プランクトン対策事業の一環として継続実施している。

令和 6 年も前年に引き続き漁業協同組合等の協力を得て、赤潮の発生、分布に関する情報を収集し、関係機関および関係漁協等に連絡するとともに、これらの対策等について現地指導を実施した。

本報告は、事業の経過と長崎県内における令和 6 年1月から12月までの赤潮発生事例をとりまとめたものである。

担当者

場長	桑原 浩一	総括
環境養殖技術開発センター兼水産加工開発指導センター所長	松田 正彦	情報収集、研修会、現地指導
漁場環境科長	宮崎 隆徳	情報収集、企画、研修会、現地指導
専門研究員	山砥 稔文	情報収集、研修会、現地指導
主任研究員	鎌田 正幸	情報収集、研修会、現地指導、とりまとめ
研究員	山名 涼太	情報収集、研修会、現地指導

2. 通報体制

(1) テレファックスの設置および番号

長崎県水産部水産加工流通課	FAX	095(895)2585	
長崎県総合水産試験場	FAX	095(850)6374	(漁場環境科)
県央水産業普及指導センター	FAX	095(850)6372	(水産試験場内)
県北水産業普及指導センター	FAX	0956(25)5984	(県北振興局天満庁舎内)
県南水産業普及指導センター	FAX	0957(64)6304	(島原振興局県南保健所内)
対馬水産業普及指導センター	FAX	0920(52)3114	(対馬振興局内)
壱岐水産業普及指導センター	FAX	0920(44)6933	(壱岐市役所石田庁舎内)
五島水産業普及指導センター	FAX	0959(74)2172	(五島振興局内)
上五島水産業普及指導センター	FAX	0959(52)3749	(新上五島町役場内)

(2) 情報収集水域および協力漁協

表 1、図 1 のとおり、8 水域で 18 漁協の協力を得た。

(3) 情報の連絡方法等

① 図 2 の情報連絡図による。

② 赤潮発生に関する情報としては、赤潮発生状況速報を各赤潮について作成し、水産加工流通課、県内各水産業普及指導センターへ発信し、関係漁協・漁業者等へ注意喚起を行った。

また、県内関係機関以外に、水産庁漁場資源課、水産庁九州漁業調整事務所、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所、近隣県研究機関等にも発信した。

3. 発生件数

令和 6 年の発生件数は表 2 のとおり 23 件で、継続日数別では「5 日以内」が 1 件、「6～10 日」が 3 件、「11～30 日」が 12 件、「31 日以上」が 7 件であった。最長期間は有明海で発生した *Cochlodinium* sp. type-Kasasa 赤潮の 78 日であった。

4. 発生水域

令和 6 年の赤潮発生水域は図 3、表 4 のとおりで、有明海、橘湾および大村湾がそれぞれ 4 件で最も多く、次いで、九十九島が 3 件、西彼沿岸と五島がそれぞれ 2 件、平戸周辺、伊万里湾周辺、対馬および壱岐がそれぞれ 1 件であった。薄香・古江湾、北松沿岸での発生はなかった。

5. 赤潮構成プランクトン

出現種は表 5 のとおり 7 種であり、*Chattonella* spp. が 10 件と多く、次いで *Karenia mikimotoi* が 9 件、*Heterosigma akashiwo* と *Cochlodinium* sp. type-Kasasa がそれぞれ 2 件、*Noctiluca scintillans*、*Ceratium furca* および *Dictyocha fibula* がそれぞれ 1 件であった。なお、*K. mikimotoi* と *Chattonella* spp. との複合赤潮が 3 件発生した。

6. 赤潮に伴う漁業被害

発生件数 23 件のうち、漁業被害を伴った赤潮は以下の 8 件であった。

- ・ 6/20～7/30、橘湾網場（戸石）地先の *Chattonella* spp.
- ・ 6/20～7/27、橘湾有喜～南串山地先の *Chattonella* spp.
- ・ 6/24～8/8、九十九島楠泊地先の *Karenia mikimotoi*、*Chattonella* spp. の複合
- ・ 6/25～8/7、南九十九島地先の *K. mikimotoi*、*Chattonella* spp. の複合
- ・ 6/28～7/30、西彼沿岸多比良～面高地先の *Chattonella* spp.
- ・ 7/12～8/9、伊万里湾の *Chattonella* spp.
- ・ 7/31～8/18、橘湾有喜～南串山地先の *K. mikimotoi*
- ・ 8/3～21、橘湾網場（戸石）地先の *K. mikimotoi*

被害総額は 1,550,633 千円であった。

表 1 情報収集水域および協力漁協

情報収集水域名	協力漁協名	備 考 漁協－TEL
伊万里湾	新松浦	0955-48-3131
薄香・古江湾	平戸市	0950-22-3133
九十九島	佐世保市相浦	0956-47-2227
	九十九島	0956-69-3161
大村湾	大村湾	095-882-2415
橘湾	橘湾東部	0957-74-3117
	野母崎三和	095-893-1131
	長崎市たちばな	095-830-2236
有明海	諫早湾	0957-34-2244
	有明	0957-68-0503
対馬周辺	美津島町西海	0920-54-2207
	美津島町	0920-54-5020
	豊玉町	0920-58-1311
五島周辺	五島	0959-74-5510
	奈留町	0959-64-3115
	若松	0959-46-2300
	若松町中央	0959-46-2323
	上五島町	0959-52-2008
計8水域	18 漁協	

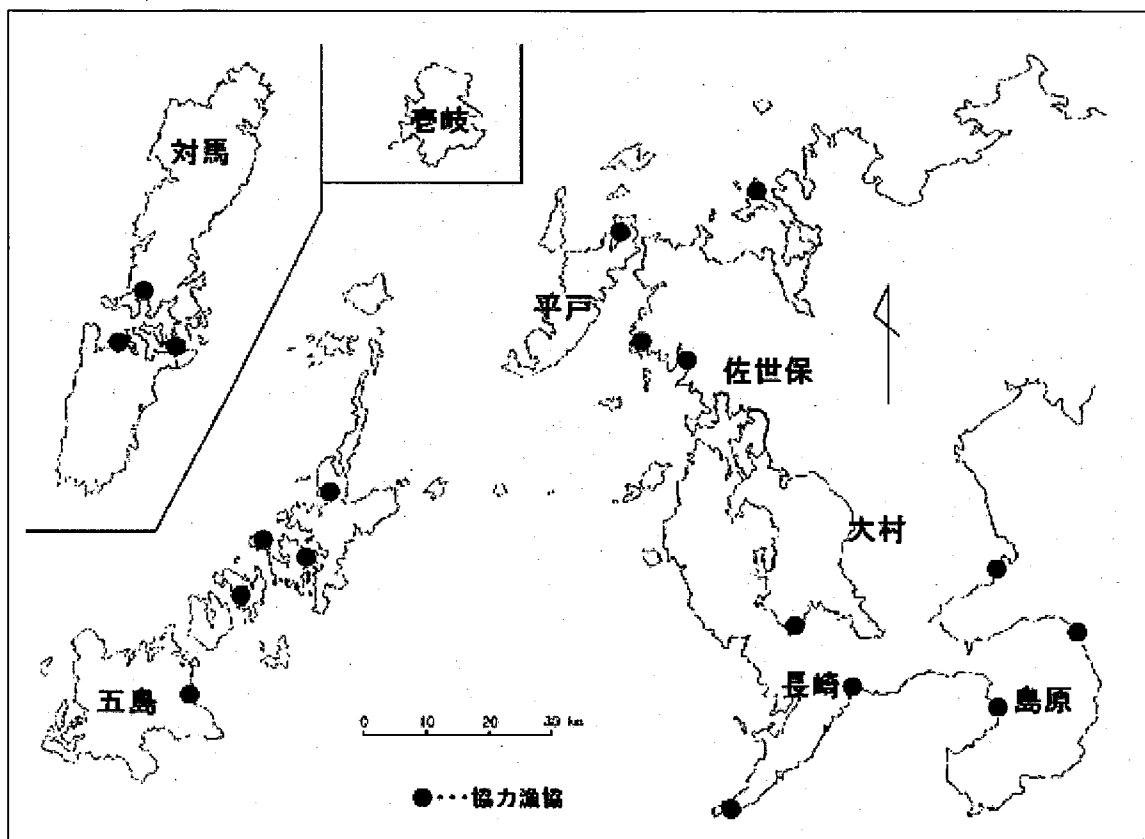


図1 情報収集水域および協力漁協

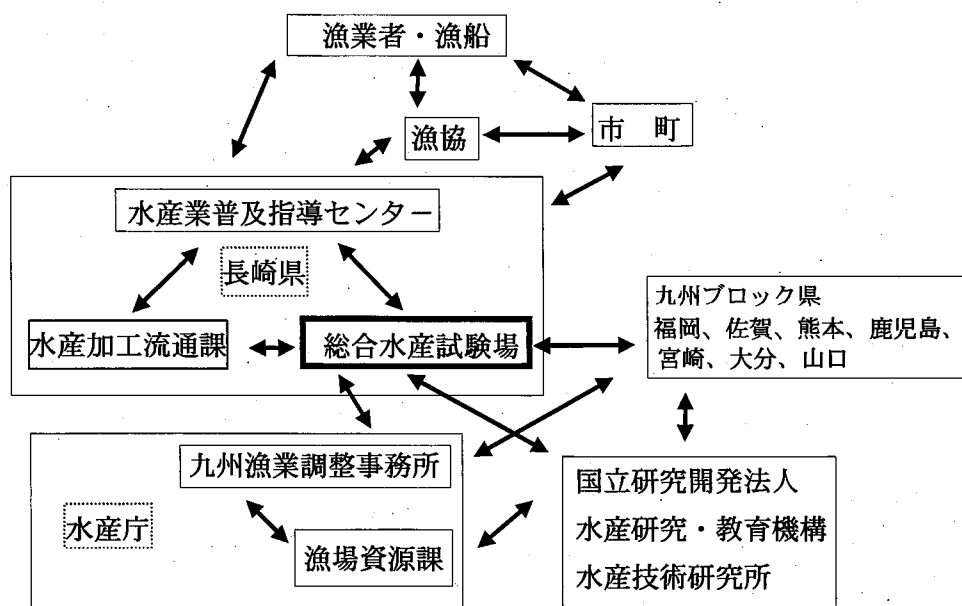


図2 情報連絡図

令和6年の長崎県海域における赤潮発生状況

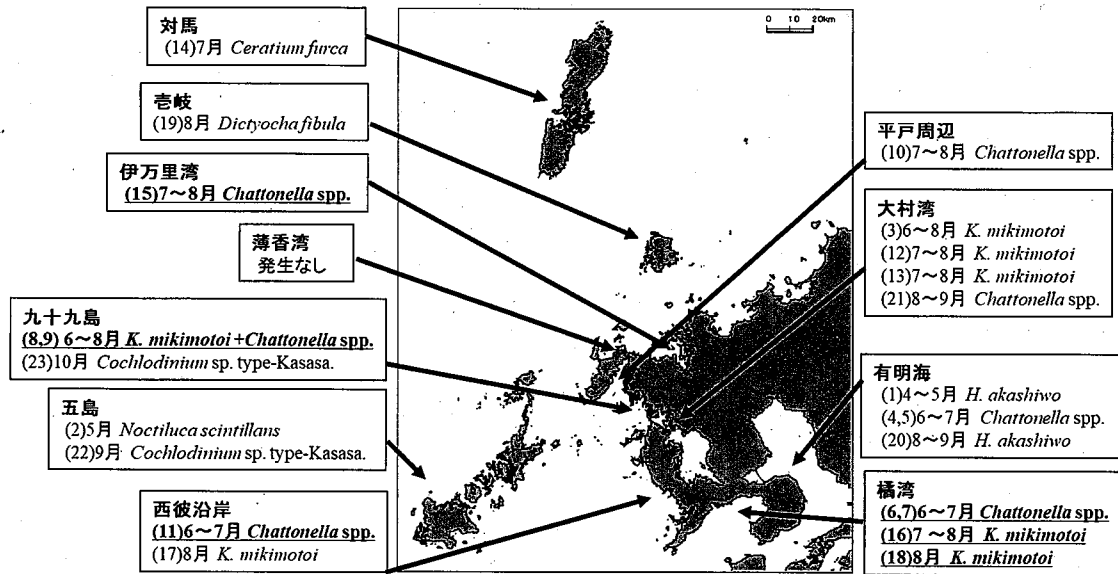


図 3 令和6年赤潮発生水域図

()は赤潮発生番号 下線は被害あり

表2 発生継続日数別赤潮発生件数

発 生 期 間	5日以内	6～10日	11～30日	31日以上	計
赤潮発生件数	1	3	12	7	23
うち漁業被害を伴った件数	0	0	3	5	8

(注) 1件の赤潮で2回以上漁業被害が発生した場合も、漁業被害件数は1件とカウントする。

表3 月別赤潮発生件数及び被害件数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
赤潮発生件数	0	0	0	1	2	9	14	11	3	1	1	1	43
うち先月より継続した件数	0	0	0	0	1	0	9	6	2	0	1	1	20
漁業被害件数	0	0	0	0	0	5	7	5	0	0	0	0	17
うち先月より継続した件数	0	0	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	9

(注) 1. 月をまたがって発生した赤潮は、それぞれの月にカウントする。

2. 月をまたがって発生した赤潮で別々の月に漁業被害が発生した場合は、それぞれの月でカウントする。

表4 水域別発生件数

海 域	水 域	件数	原因種
九州北部	伊万里湾周辺	1	<i>Chattonella</i> spp.
	薄香・古江湾	0	
九州西部	大 村 湾	4	<i>Karenia mikimotoi</i> (3) <i>Chattonella</i> spp.
	橘 湾	4	<i>K. mikimotoi</i> (2) <i>Chattonella</i> spp. (2)
	平戸周辺	1	<i>K. mikimotoi</i> + <i>Chattonella</i> spp.
	北松沿岸	0	
	九十九島	3	<i>K. mikimotoi</i> + <i>Chattonella</i> spp. (2) <i>Cochlodinium</i> sp. type-Kasasa
	西彼沿岸	2	<i>K. mikimotoi</i> <i>Chattonella</i> spp.
	有 明 海	4	<i>Heterosigma akashiwo</i> (2) <i>Chattonella</i> spp. (2)
離島	五 島	2	<i>Noctiluca scintillans</i> <i>Cochlodinium</i> sp. type-Kasasa
	壱 岐	1	
	対 馬	1	<i>Ceratium furca</i>
計		23	

表5 赤潮構成種別発生件数

順位	赤潮構成種名	件数
1	<i>Chattonella</i> spp.	10
2	<i>Karenia mikimotoi</i>	9
3	<i>Cochlodinium</i> sp. type-Kasasa	2
3	<i>Heterosigma akashiwo</i>	2
5	<i>Noctiluca scintillans</i>	1
5	<i>Ceratim furca</i>	1
5	<i>Dictyocha fibula</i>	1
計		26

※*Chattonella* spp., *Karenia mikimotoi*の複合赤潮3件発生

※表5は、*Chattonella* spp., *Karenia mikimotoi*を含む